

仕 様 書

1. 品 名 高速液体クロマトグラフ用システム機器

(内訳) 温調ユニット付きオートサンプラー 日本分光 AS-4150
示差屈折率検出器 日本分光 RI-4030
クロマトグラフィーデータシステム 日本分光 ChromNAV

2. 数 量 1 式

3. 基本的仕様

- ① オートサンプラーは、最大圧力が 60MPa 以上であること。
- ② オートサンプラーは、試料検体数が 100 本以上であること。
- ③ オートサンプラーは、試料注入量が 0.1~100 μ L であること。
- ④ 示差屈折率検出器は、屈折率範囲が 1.00~1.75 であること。
- ⑤ 示差屈折率検出器は、測定方式がサンプル濃度に合わせて偏向できること。
- ⑥ 示差屈折率検出器は、ノイズが 2.0×10^{-9} RIU 以下であること。
- ⑦ 示差屈折率検出器は、光源が LED であること。
- ⑧ クロマトグラフィーデータシステムは、シーケンス保存が可能であること。
- ⑨ クロマトグラフィーデータシステムは、マニュアル波形処理ができること。
- ⑩ クロマトグラフィーデータシステムは、スペクトル解析に対応できること。
- ⑪ クロマトグラフィーデータシステムは、上記オートサンプラー、示差屈折率検出器、既存の日本分光社製 HPLC ポンプ(PU-4185)、カラムオーブン(CO-4060)、電気伝導度検出計(CD-200)から構成される HPLC システムと連携して送液や分析が一括制御できること。

4. 納入場所

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター
海外生物学実験棟 1 階 遺伝子機能解析室

5. 納入期限

令和 4 年 10 月 31 日

6. その他

- (1) 納入日、納入方法等の詳細については、担当職員と打合せのうえ実施すること。
- (2) 機器の搬入、据付完了後、試運転、性能試験を行うこと。
- (3) 納入・設置に際し、在来部分を汚損した場合は、在来に倣い補修すること。
- (4) 納品の際は、検査職員の検査を受けること。
- (5) 修繕の費用については、使用者の故意又は重過失によるものを除き、納入後 1 年間無償とすること。
- (6) その他、業務中に疑義が生じた場合は、担当職員と協議のうえ業務を完了させること。